

旭丘小学校における児童との意見交換会 令和元年5月24日実施

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
1	<p>なぜ授業は45分間なのですか。また、なぜ中休み時間は20分しかないのですか。</p>	<p>授業時間が45分間というのは、みなさんが学習に集中して取り組むのにふさわしい時間として文部科学省が設定し、全国の学校に示している時間です。</p> <p>授業の時間が短すぎると、先生は教える内容をしっかりと教えられませんが、長すぎると、みなさんが疲れてしまい集中力が続かなくなってしまう。こうしたことから、ちょうどよい時間として45分を設定しています。</p> <p>また、20分の中休み時間は、体をのびのびと動かしたり、心も体もリラックスさせたりするのにちょうどよい時間ということで設定されています。与えられた20分の中で十分に休みをとって、その中休みが終わったら、次の学習にしっかりと取り組んでもらいたいと思います。</p>
2	<p>図工はどうして国語や算数より授業が少ないのですか。また、なぜ算数は中学校になると数学になるのですか。</p>	<p>1年間で何を学んでほしいのかというのは、教科ごとに、ある程度内容や量が決まっています。国語や算数などの学ぶ内容の量が多い教科は、当然勉強する時間や回数が増えますし、反対に、そうでない教科は内容が多い教科に比べて時間や回数が少なくなります。ただ、どの教科の学習もみなさんの成長にとって大切なものです。特に図工や音楽は、心を豊かにする大事な教科ですから、しっかりと取り組んでください。</p> <p>次に、算数と数学についてです。算数は、量や図形などについて日常生活の具体的な場面をとおして学習し、生活に役立つ力を身に付けることに重点を置いています。一方、数学は、日常生活の中でイメージしにくい物事や仕組を数や式で表現したり、考えたりします。数学は、単に答えを出すだけでなく、どうしてそのような考えに至ったのかという、考え方の筋道や過程を大切にしたい学問です。年齢とともに、勉強する内容も変化し、教科の名前も算数から数学へ変わります。</p>
3	<p>なぜ運動会があるのですか。</p>	<p>運動会を行う意味はたくさんありますが、その中でも代表的なものを紹介します。</p> <p>一つ目は、健康や体力作りのためです。運動会やその練習を通して、みなさんに一層運動に親しんでもらい、運動することの楽しさを味わってもらいます。</p> <p>二つ目は、学習の成果を発表するためです。日ごろのみなさんの体育の授業や体力づくりの成果を、家族や地域の方々に向けて発表する機会となります。</p> <p>三つ目は、目標をもって、粘り強く、一つのことにみんなで力を合わせて取り組むことのすばらしさ、充実感を体験するためです。</p> <p>また、運動会の種目に出場するだけでなく、係の仕事をしたり、運動会に至るまでにたくさんのお話を話し合ったり決めていたりすること。そうした活動を通して、みなさんが主役となって行事を進める力を伸ばすことも、運動会を行う意味と言えます。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
4	移動教室はなぜあるのですか。また、移動教室が年に1回なのはなぜですか。	<p>移動教室があるのは、自然や文化に触れる活動や宿泊行事をとおして、みなさんの経験を豊かにするためです。</p> <p>移動教室では、自然に触れ合う体験をしたり、普段は見られない施設の見学をしたりします。そうすることで、みなさんの知識が広がったり、学校で習ったことを実際に体験して深めたりすることができます。</p> <p>また、宿泊を伴う移動教室では、係の仕事に取り組んだり、友達と協力して身の回りのことを行ったりします。このような取組をとおして、みなさんには自主性や責任感、思いやりを学んでほしいと考えています。</p> <p>次に、移動教室を年に1回だけ行う理由です。学校では移動教室以外にもたくさんの学習をしなくてはなりません。どの学習もみなさんにとって必要なものとなりますので、残念ながら、1年に1回しか移動教室に行くことはできないのです。</p>
5	なぜ小学校に行くときはランドセルなのですか。	<p>ランドセルが選ばれている主な理由として、次の3つが挙げられます。</p> <p>第一に、便利であることです。ランドセルは、教科書やノートを入れることを目的に作られているので、たくさんの教科書などを入れることができます。</p> <p>第二に、体に負担がかかりにくいことです。ランドセルは子供が背負うことを考えて作られています。そのため、教科書やノートを入れても、体への負担を少なくして荷物を運ぶことができます。また、頑丈に作られていますので、6年間壊れずに使用できます。</p> <p>第三に、安全であることです。ランドセルを背負っていることで両手が自由になるため、転んだときに手をつくことができます。また、体が後ろに倒れたときにもランドセルがクッション代わりになります。ランドセルを背負うことによって、大きな怪我を防ぐことにもつながります。</p>
6	黒板の大きさはどう決めているのですか。また、なぜホワイトボードではなく黒板を使っているのですか。また、教室にはなぜ黒板が2つあるのですか。(前と横)	<p>黒板の大きさには、特に基準はありません。学校をつくるときに、授業を受ける子供たちから黒板の文字が見やすいような大きさで、教室の広さや形にあったものを取り付けています。</p> <p>次に、なぜホワイトボードではなく黒板を使っているかです。黒板の深緑色は目が疲れにくく、文字が見やすいですが、ホワイトボードは光が反射して見にくいからです。ただし、チョークの粉が飛び散らないということで、食べ物を調理する家庭科室などではホワイトボードを設置しています。</p> <p>次に、教室には、なぜ黒板が2つあるかです。教室の正面にある黒板は授業で使いますが、廊下側の黒板は、連絡事項やクラスの目標などが書いてあると思います。これは、教室の正面の黒板に授業内容以外のことが書いてあると、気が散ってしまうこともあるからです。このため、授業用と連絡用の2つに分けています。</p>
7	なぜ旭丘小学校は校庭が広いのに遊具が少ないのですか。また、学校にブランコがなくなったのはなぜですか。	<p>旭丘小学校の校庭はとても広く、1人当たりの面積だと、他の学校の3倍以上の広さになります。広い校庭があれば、場所取りなど気にせず、ドッジボールやサッカー、大縄跳びなどの様々な遊びを同時にすることができます。休み時間にクラスごとに好きな遊びをすることもできます。同じ遊びが好きな子供が集まって、1年生から6年生まで全員が、一緒に楽しく遊ぶこともできます。</p> <p>また、以前あったブランコですが、古くなり危険だったので撤去しました。</p> <p>この広い校庭を使って、お友達とたくさん遊んで、仲良く交流を持ってほしいと思います。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
8	なぜ学校には木がたくさんあるのですか。	<p>学校には、ヒマラヤスギ、イチヨウ、ケヤキ、ウメや果樹など、たくさん木が植わっています。理科の授業での観察用として使われる木もあります。また、卒業記念として贈られた木もあり、植えられた理由は様々です。</p> <p>学校ができた頃に植えられた木についてです。例えば、落葉樹は、夏は日差しを防いで涼しく、冬は葉を落とし日光で教室が温かくなるように植えられました。また、学校とお隣の家との境界に、目印として木が植えられることもありました。それから、学校と家の間には、火事が起こっても燃え移らないように、火に強い木を植えたりもしていました。</p> <p>このような様々な理由から、学校には木がたくさんあるのです。</p>
9	なぜ音楽室と図工室、理科室は学校の一番端に設置されているのですか。	<p>音楽室にはピアノなどの楽器があります。図工室には大きな机や流しが、理科室には実験器具があり、普通教室に比べるとより広いスペースが必要です。</p> <p>校舎の端、廊下の突き当りに音楽室などの特別教室を設置すると、廊下の分だけ広くすることができ、スペースを確保することができます。普通教室と比べて広い特別教室が設置できるため、楽器や大きな机を置くことができます。</p> <p>また、音楽室は楽器の音などが普通教室に響かないように、校舎の端に設置しています。</p>
10	体育館にはなぜ冷房がないのですか。	<p>練馬区では夏の暑さ対策として、平成20年度に全ての小・中学校の普通教室にエアコンを設置しました。そして、平成26年度には、全ての特別教室にもエアコンを設置しました。</p> <p>さて、体育館ですが、夏の体育の授業はプールが中心となること、夏休みがあることから冷房設備はありませんでした。しかし、体育館は、学校で使うことはもちろんですが、地震が起きた時には避難場所としての使うこともあります。また、今年の夏はとて暑く、体調を崩した人も数多くいたことから、体育館へエアコンを設置することにしました。</p> <p>ただ、練馬区の小・中学校は98校と多く、一度に全校へ設置することは難しいため、順番に設置することとしました。今年度から毎年14校ずつ体育館にエアコンを設置し、7年かけて全ての学校に設置します。</p>